

# ヒーリングスペースの提案

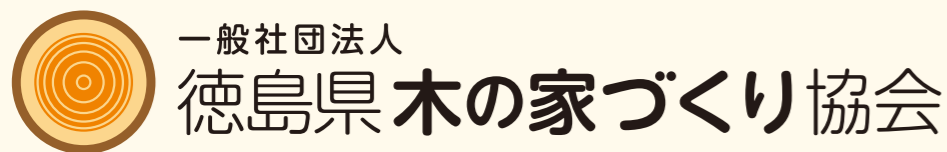
「ヒーリングウッド丹色」をオフィスや店舗、医療・介護空間や学校・教育機関等で活用していただくため、(一社)徳島県木の家づくり協会会員の建築士が癒やしの空間を設計しました。快適な環境で、お客様やスタッフ・社員の満足度アップのお手伝いをします。導入しやすい家具の設計も行っておりますので、ぜひ「ヒーリングウッド丹色」の活用をご検討ください。



## ヒーリングウッド丹色 商品リスト

- ①厚さ30mm × 幅(はたらき部)135mm × 長さ4m ※本実加工
- ②厚さ30mm × 幅(はたらき部)180mm × 長さ4m ※本実加工
- ③厚さ15mm × 幅(はたらき部)145mm × 長さ4m ※本実加工

価格等、お気軽にお問い合わせください。



〒770-8001 徳島市津田海岸町5-33(協同組合スーパーウディシステム内)  
tel.088-678-3010 fax.088-678-3090  
<https://tokushima-kinoie.com> [info@tokushima-kinoie.com](mailto:info@tokushima-kinoie.com)



一般社団法人 徳島県木の家づくり協会は、林業家、製材業者、製材品販売業者、プレカット業者、不動産業者、大工・工務店、木の家設計家、公共的団体で組織され、川上から川下まで徳島すぎを用いた顔の見える家づくりと、その研究開発・普及活動を行う団体です。



徳島すぎの最高級無垢材

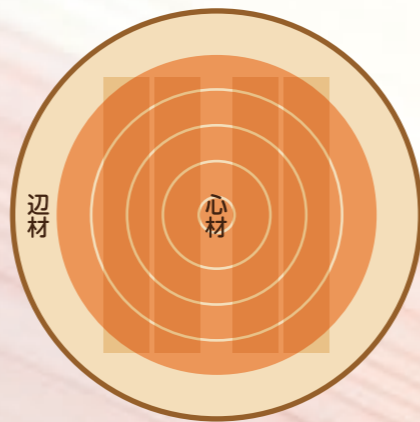
ヒーリング  
ウッド  
にいろ  
丹色

顔の見える木材での快適空間づくり事業





# ヒーリングウッド丹色は 徳島すぎのいちばんいいところを 使った無垢材です。 心地よい木の家のくらしに ぜひご指名ください!



雨が多い徳島の急峻な山の斜面ですくすくと育つ「徳島すぎ」。強く、腐りにくい性質を持っているため、古くから建築材料などとして利用されてきました。近年では耐久性に加え、美しい色目や香りなどが心地よいことについて裏付ける実験や研究が進んでいます。杉の断面を見るとまわりの白い部分と中心の赤い部分が見られます。白い部分は「辺材(白太)」で、木が活動している部分。赤い部分は「心材(赤み)」といって、木を腐らせる微生物が生きられないようになっています。シロアリに強く腐りにくい性質で耐久性に富み、心材化の過程で、色・ツヤ・香りに関わる成分も多くつくられることがわかっています。徳島すぎのいいところが凝縮されているのが「心材(赤み)」、というわけです。(一社)徳島県木の家づくり協会は、産学官連携で「心材(赤み)」を使った新商品の開発に取り組み、「ヒーリングウッド丹色」が完成しました。

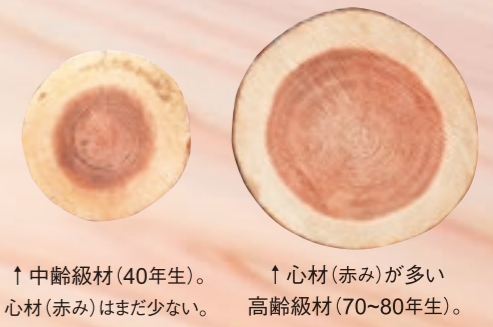
**丹色**とは?  
赤を表す伝統色の名前です。徳島すぎが持つ心材(赤み)の美しい赤に加え、「丹念」に育てた木であること、徳島屈指の林業地帯が「丹生谷」であることなどから名付けました。

この部分を使います



## おすすめ理由 1 最高品質の徳島すぎ使用

ヒーリングウッド丹色は、70~80年生の徳島すぎ大径材の心材(赤み)を多く使った最高品質。左図の①及び②の部分から製材します。樹齢が高く心材(赤み)が多くとれる杉が豊富な徳島だからこそ実現できました。



**香り**

香りの中に人を落ち着かせる成分が含まれています。

**木目**

目に有害とされる紫外線の反射が少なく、目に優しい材料です。

**手ざわり**

熱をあまり伝えない素材。触った時に手の熱が逃げにくく、あたたかく感じます。

**保温・調湿**

空気層を多く含む保温性・調湿性に優れています。いわば呼吸する材料です。

## おすすめ理由 2 新しい乾燥技術

乾燥期間  
**半分**

成分  
**維持**

快適性  
**発揮**

ヒーリングウッド丹色は乾燥期間を従来の半分に短縮することに成功。香りや耐久性に関わる成分を多く残す画期的な乾燥技術を採用しています。ヒーリングウッド丹色の成分分析を行ったところ、スギ由来のセスキテルペン類を含んでいることが確認されました。また、人的効果試験の結果からは、血圧の低下およびネガティブな心理状態を改善させ、ヒトの生理・心理面に好ましい影響を及ぼす可能性が示唆されました。

## おすすめ理由 3 森を守りたい

徳島の森林は、樹齢50年以上の利用できる杉の割合が多く、資源が充実している状態です。これを適度に利用し、新しく苗木を植えることで、森林が二酸化炭素を吸収して酸素をつくる力を高めます。木の年齢バランスがとれ、きちんと管理された豊かな森は、豊かな海をももたらしてくれます。また、ヒーリングウッド丹色の需要が高まれば、森の仕事が増え林業の人材も育ちます。持続的な林業経営が森を守ることにもつながっているのです。

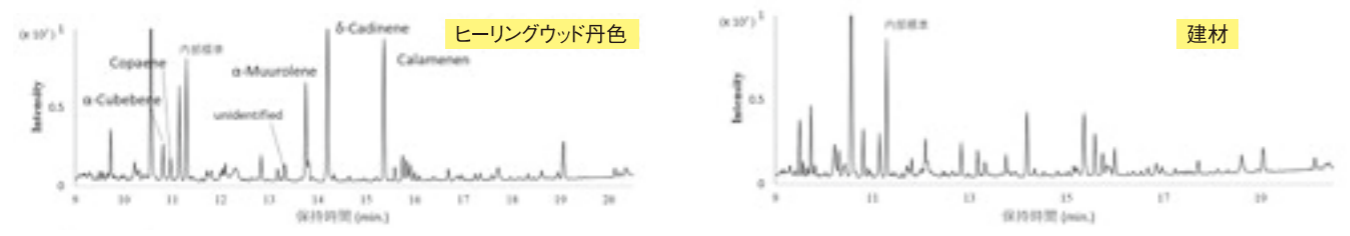


2019年(一社)徳島県木の家づくり協会が九州大学大学院農学研究院に依頼し、「ヒーリングウッド 丹色」と一般的な建材の成分分析と人的効果試験を行いました。結果の一部をここに記載します。



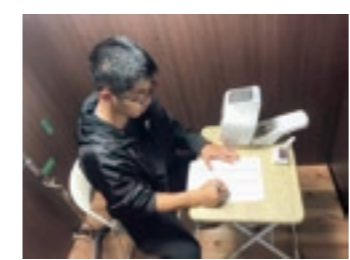
### GC/MSによる揮発性成分分析

空気中に含まれる揮発性成分を捕集し、ガスクロマトグラフィ質量分析装置(GC/MS)による分析を行った結果、ヒーリングウッド丹色を敷いた条件では6つのスギ由来のセスキテルペン類が検出された。一方、建材を敷いた条件では検出されなかった。したがって、ヒーリングウッド丹色と建材の条件間では明らかな香り成分の違いが確認された(下図)。

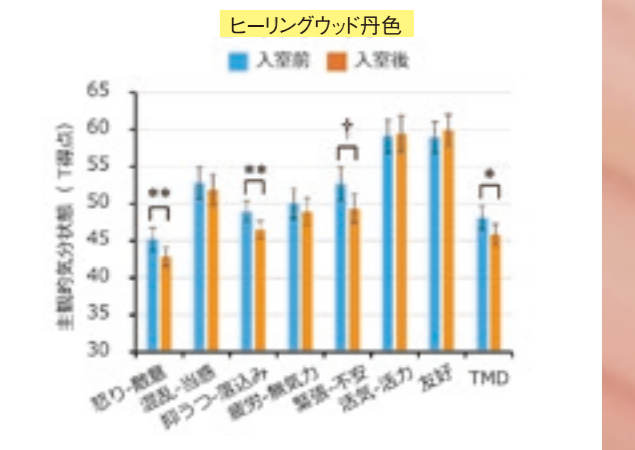


### POMSによる気分および感情の評価

※POMS (Profile of Mood States)・・・ある条件下での気分や感情を測定



実験室の床にヒーリングウッド丹色と建材を施工し、POMSを実施したところ、ヒーリングウッド丹色では実験室入室後の「怒り-敵意」、「抑うつ-落込み」および「ネガティブな気分状態(TMD)」の得点が入室前に比べ有意に低値を示した。また、「緊張-不安」において低い傾向を示した(右図)。



資料提供:九州大学大学院農学研究院森林圏環境資源科学研究室